

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	36	言葉かけで気をつけなくてはならない場面が見受けられる。	主役は入居者との意識を忘れない。	朝の申し送り時の「介護の心得」の唱和の継続。 定例会にて再度、不適切な言葉の確認を行い、ケアにあたるようにしている。	3ヶ月
2	48	役割、楽しみごとの支援を増やしたい。	張りのある生活を送っていただく。	興味や力に応じた役割を個人で持ってもらい、日々続けられ、生活に張りがもてるよう手助けを行う。 食事前のおしぼり配り、盛り付け、食器拭き、洗濯物畳み等、出来ることを見極める。	3ヶ月
3	20	介護度が高くなるにつれて、外部との交流が少なくなっている。	馴染みの地域や人との関係が継続できる。	馴染みの方のいるケアハウスには、思いの通り行き来出来るようにしている。 馴染みのデパートには、車椅子の方も出掛けられるよう同系列施設のバスを使い、少なくとも月1回出かけている。	6ヶ月
4					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。